

7つある安曇野市の国内友好(交流)都市。今月号から、それぞれの友好(交流)都市の職員の方々に各自治体の魅力を紹介してもらいます。 図政策経営課都市交流係 (TEL71・2402 FAX71・5155)

■東金市との友好の歴史■

東金市と安曇野市の交流は、平成7年に東金市の小学生が「青少年体験事業」として旧堀金村を訪れたことから始まりました。この青少年交流事業は、現在も「あづみの探検隊」という名称で実施され、毎年、東金市と安曇野市の小学生が交流しています。

他にも東金市の産業交流拠点施設「道の駅みのりの郷東金」と安曇野市の直売所がお互いの商品のやり取りを通じて交流するなど、さまざまな場面で親交が深まったことから、平成27年4月5日に友好都市締結を行いました。



人・自然ときめき交感都市 東金



とうがねし
千葉県 東金市

- ▶市長 鹿間 陸郎
- ▶所在地 千葉県東金市東岩崎1番地1
- ▶人口・世帯数 58,102人・27,025世帯 (7月1日現在)
- ▶面積 89.12平方キロメートル
- ▶特産品 黒豆みそ、東金天門どう(銘菓)、米、ぶどう、プラムなど
- ▶観光名所 八鶴湖

オススメ観光スポット 武将・徳川家康ゆかりの地【八鶴湖】

有名な戦国武将・徳川家康公が、鷹狩りの際の宿泊地として「東金御殿」を築造し、御殿からの眺望をよくするために造った庭池が、現在の「八鶴湖」です。

お花見の時期(3月下旬～4月上旬)には、約300本の桜並木が美しく咲き誇る大人気の桜スポットです。東金桜まつりは連日多くの観光客で賑わいます。夜には桜がライトアップされ、昼間とはまた違った幻想的な雰囲気が楽しめます。



両市の交流事業 信州安曇野ハーフマラソンへの参加

第1回大会からボランティアとして参加させていただいています。昨年の第5回大会では、東金市から鹿間陸郎市長、小倉治夫市議会議長をはじめ東金市職員が、給水所での給水ボランティアをさせていただきました。参加した職員からは「ランナーの皆さんの笑顔や『ありがとう』の声に毎回心が温まる」、「安曇野市の皆さんの温かいおもてなしにも感謝の気持ちでいっぱい」といった声が寄せられています。次回ハーフマラソンも楽しみにしています!



「とっちー」と「さとちゃん」が、安曇野市の素敵なところ&東金市のココが自慢☆を紹介!

【安曇野市の素敵なところ】なんといっても空気がおいしい!! 安曇野市の澄んだ空気を吸い込んだら、移動の疲れも一気に吹き飛びました。また、山菜や信州サーモンなどのたくさんの美味しい名物や常念岳やわさび農園の美しい景色など、普段味わえないものばかりで、訪れるたびに心から癒され、元気をいただいています!

【東金市のココが自慢☆】東金市の名物のひとつ「黒豆みそ」。この黒豆みそを使った「東金黒豆みそ鍋」は、ニッポン全国鍋グランプリで3位に入賞したこともあります。ほんのりかおる香ばしさと深い甘みとコクが魅力です。老化予防や血圧の抑制など、健康・美容効果もあります。ぜひ食べてみてください!



東金市マスコットキャラクター「とっちー」
東金市秘書広報課「古内里佳さん(さとちゃん)」

投票環境の改善策

説明会にご参加ください

投票所が抱える課題

現在投票所は、地区公民館を中心に市内75箇所に設けられています。昨年夏の参議院議員選挙では、投票所の暑さ対策に関する要望が多く寄せられ、また、長時間従事する区の役員の負担軽減やバリアフリー化への対応なども課題となっています。さらに、同選挙では投票者の約4割が期日前投票を利用しており、制度の定着が進んでいます。

一方、高齢化の進展や新型コロナウイルス等の感染症対策といった急激な社会情勢の変化により、

投票所における感染症予防の一例

- ・記載台は間隔を開けて設置し、隣り合った区画を使用しないようにします。
- ・立会人等との間隔をできるだけ離すとともに、マスクを常に着用します。
- ・順番待ちが生じたときのため、間隔の目安として約2m置きにラインを引きます。
- ・天候を問わず定期的に換気します。
- ・消毒液など感染症予防対策用品を備えます。

現状の投票所の環境では対応することが困難になりつつあります。これらを踏まえ、将来を見据えた投票環境を考え直す時期が来ています。

投票環境の具体的改善策の提案

市選挙管理委員会では、これらの課題に加え、地域の有権者の意向や地域の実情を考慮しつつ、有権者の皆さんが投票しやすい環境を整え、公正公平な投票が行われるよう整備するため、具体的な改善策を検討しています。

投票所を広い施設へ

投票日当日の投票所を現在の地区公民館などから、空調設備が整い、バリアフリー対策をした広い施設へ変更することを検討しています。施設が広くなることで、人の目が気になりにくくなる、駐車場が広く乗降車が楽になる、混雑時でも屋内で待つことができる、また、施設によっては土足のまま入場できる可能性などの利点があります。さらに、立会人等は、区から選

出する役員数を減らせるなどの利点があります。

移動期日前投票所の導入

期日前投票をする有権者が増えている現状を踏まえ、さらなる利便性を高める方法として移動期日前投票所の導入を検討しています。記載台と投票箱を備えた車両に投票立会人等が乗車し、山間部や有権者が少ない投票区などを数時間ずつ巡回します。これにより、投票の機会と場所の選択が広がります。

あつみん乗車券を助成

今後、歩いて投票所に行くことが難しく、送迎を頼みにくい人が増えることが想定されます。そこで、自宅玄関から投票所入口付近まで送迎してくれるデマンド交通「あつみん」を利用して直接期日前投票所に行った人には、乗車券一回分を助成することを検討しています。

投票区内で説明会を開催

前述した内容を踏まえ、各投票区内の課題解決に向けた説明会を、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら順次行っていきます。当日は、選挙管理委員が各投票所に伺いますので、有権者の皆さんの参加と率直な意見をお待ちしています。

開催日程は市HP、広報あづみのラジオ版(あづみ野エフエム)、会場(投票所) 玄関付近に掲げる予告チラシを確認いただくか、市選挙管理委員会事務局へお問い合わせください。

なお、今回提案する内容は、令和4年7月執行予定の参議院議員選挙、または同年8月執行予定の長野県知事選挙からの実施を目標としています。



選挙管理委員会事務局
TEL71・2031 FAX72・9266